

● Photo sketch ●



11/22 熊子商店オープンします

大河ドラマ「麒麟がくる」活用推進協議会による第2弾土産品発表会があり、市内の陶磁器メーカーによる桔梗紋が入ったペアカップや観光協会加盟店舗が開発したオリジナル菓子など92点を新たに発表。光秀と熊子の夫婦愛にちなんだ商品など33点が“いい夫婦”であるこの日にお披露目されました。

テラスゲート土岐まちゆい内土岐たび案内所では、12月1日(日)から「熊子商店」がオープンするなど放送開始を前にPR活動にも力が入ります。



11/22 人生の記念日に

市教育委員会は、人生の記念日に美濃焼を再認識してもらおうと、市内中学校の卒業記念品として「ご飯茶わん」を、成人式典記念品に「マグカップ」を贈る事業を企画しました。

この日は、ご飯茶わん、マグカップの選定に関わった中学3年生、新成人の代表が市役所を訪れ、多くの応募から選定された記念品を手に取り、市長に報告を行いました。



12/1 災害時に必要な地域のつながり

土岐津町上田連合町内会が地域住民に呼びかけ、災害図上訓練(DIG)と災害時の非常食の試食を行いました。

地域の人々が自分たちの住んでいるところの安全なところ、危険なところを日頃から確認し、情報を共有することは災害発生時には非常に大切なことです。また、地域のつながりを大切にするには、災害に強い地域づくりにつながるのではないのでしょうか。



12/7 やったー! 飛んだ!

親子科学教室がセラトピア土岐で開かれ、親子34組がJAXA宇宙教育リーダーの水野さんら講師の指導を受けながら熱気球作りに挑戦しました。

最初に熱気球の仕組みについて講義を受けた参加者は、横1.8m、縦3mのビニール袋に好きなキャラクターを描いたり、「宇宙に行きたい」など自分の願いを書いた付箋を貼り付けたりして気球を作成。ドライヤーで温風を送ると、気球はどんどん膨れ上がり、手を放すと天井まで上っていきました。

ときめきの瞬間

11/30 ゴミ拾いはスポーツだ

チームで力を合わせ、制限時間内に指定エリア内のゴミを拾い、その質と量を競う「スポGOMI」がアウトレット周辺で開催されました。

スポGOMIは、スポーツ感覚で楽しみながら町をきれいにする地球にやさしいスポーツで、この日は10チーム37人が参加し、1時間で約20kgのゴミを拾いました。

参加者からは、今後は、道を歩いていてもゴミを拾うようにしたい、という声も聞かれました。



11/30 地域への愛着と誇りを「第1回土岐ふるさと塾」を開催

14組30人の親子が土岐明智氏ゆかりの地「妻木城跡」を訪れ、妻木城について学びました。

参加者は、妻木城址の会のメンバーや美濃陶磁歴史館の学芸員の案内により険しい登山道を30分ほどかけて登りました。山頂付近では、眺めの良さが築城の場所として選ばれた理由であることや、攻めて来た敵の撃退方法(右の写真)など山城について学びました。

山登りは大変そうでしたが、参加した親子は貴重な史跡が身近にあることを知り、地域への愛着と誇りをあらためて感じていました。

